

(お知らせ)

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

岡山県倉敷市における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣について

令和4年11月7日
防衛省

概要	○ 令和4年11月3日（木）、岡山県倉敷市に所在する養鶏場（約51万羽）において鳥インフルエンザの疑いが発生し、翌日4日（金）、検査の結果、鳥インフルエンザ陽性が確定。 ○ 4日（金）1610、陸上自衛隊第13特科隊長（日本原駐屯地・岡山県勝田郡）は、岡山県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請を受理。 ○ 同日1610より、陸上自衛隊第13特科隊を基幹とする対処部隊が殺処分等に係る支援を実施。 ○ 7日（月）1614、自衛隊実施分について完了し、じ後の防疫措置は自治体のみで可能となったことから、<u>陸上自衛隊第13特科隊長は岡山県知事から災害派遣撤収要請を受け、活動を終了。</u>
活動部隊	○ 陸上自衛隊 第13特科隊（日本原）、第13戦車中隊（日本原）、第13高射特科中隊（日本原）、第13後方支援隊第2整備中隊特科直接支援小隊（日本原）、第305施設隊（三軒屋・岡山県岡山市）
活動態勢	○ 約300名態勢（24時間態勢で、約51万羽のうち、自衛隊は約23万羽、自治体は約28万羽を担当）
活動内容	○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分支援等

